

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月11日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870200466		
法人名	医療法人 永慈会		
事業所名	ひたちの森ガーデン	ユニット名	カトレア
所在地	〒319-1413 茨城県日立市小木津町1020		
自己評価作成日	平成25年6月26日	評価結果 市町村受理日	平成25年12月4日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0870200466-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0870200466-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年8月30日	評価機関 決裁日	平成25年11月21日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>近隣住民との交流並びに幼稚園、小学校との交流も定着してきており、地域の方と一緒に社会生活を営むことが出来るホームになってきております。近隣に同系列の病院・施設などがあることにより、利用者様の介護度に合った施設選びも出来て、「安心」と家族様よりお言葉頂戴しております。又、月1回の外出時には女性は化粧（口紅・マニキュアなど）されて、一段ときれいに整容して、また必ず避難誘導・訓練も実施しております。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所の夏祭りやバーベキュー、芋煮会などの行事に地域の人々を招いたり、幼稚園児との交流の機会を設けたりしているほか、利用者が地元の敬老会や運営母体の医療機関が主催する秋祭りへの参加をおして日常的に地域住民と交流ができるよう支援している。</p> <p>小学校の運動会に招待され、「玉手箱」や「カード合わせ」などの種目に参加している。</p> <p>避難訓練を運営推進会議後に開催し、地域住民や家族等の代表が参加し易いよう工夫をしている。</p> <p>月3回全職員で勉強会を行い、職員が順番で講師役を務めるなど、積極的に学ぶ姿勢を養いながらサービスの質の向上が図れるよう取り組んでいる。</p> <p>運営母体の医療機関が認知症療養病棟を設けており、職員は医療機関に相談して利用者にとって最善の方法を検討しながら支援にあたっており、利用者や家族等の安心につながっている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	○できている。  理念を掲げ、常に利用者様の立場に立って考え、実践できるようにしています。	「家庭的な環境のもとで日常生活の介助を通じて安心と尊厳のある生活を営む事を支援します」との理念を作成しているが、地域生活の継続支援や事業所と地域との関係性を重視した内容を盛り込むまでには至っていない。 理念をユニット毎の事務所に掲示するとともに、管理者と職員は朝礼時に唱和して共有を図り、実践につなげている。	グループホームは、認知症高齢者が家庭的な環境と地域住民との交流のもと、住み慣れた環境での生活を継続できるようにすることを目指すサービスであるため、理念に地域生活の継続支援や事業所と地域との関係性を重視した内容を盛り込むことを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	○できている。  「地域の中で共に暮らし、共に生きる」をモットーに地域の方々と交流できるように努力しています。体験学習・ボランティア・地区社協の受入れをとおして広く地域に開放しています。	年2回幼稚園児との交流会を開催しているほか、毎年社会体験学習で小学生を受け入れている。 職員は利用者が小学校の運動会に招かれて玉手箱やカード合わせなどの種目に参加ができるよう支援したり、車いす使用の利用者は、運動会当日は混み合うので小学校の協力のもと、予行演習を見物できるように配慮したりしている。 事業所の夏祭りやバーベキュー、芋煮会などの行事に地域の人々を招待しているほか、利用者は地域の敬老会や運営母体である医療機関の秋祭りに参加し、地域の人々と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	○できている。  夏祭りやバーベキュー・昼食会をとおして、地域の方々の理解を深める努力をしています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	○できている。  利用者様・家族様・地域住民・市町村担当者・同業者等の参加により、運営状況の報告や説明・意見交換等を行い、サービス向上に活かしています。	運営推進会議は利用者や家族等の代表、市職員、人権擁護委員、民生委員、他グループホームの職員、同一法人の事業所職員を委員として2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所の状況や行事、外部評価で明らかになった課題を報告して話し合ったり、意見交換などを行っている。 事業所で起きた事故や未然の事故などについても報告して話し合い、出た意見や話し合った結果をサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	○できている。  運営推進会議を活用し、介護保険課・高齢福祉課との連携を図っています。	市担当者が毎回運営推進会議に出席しているほか、市担当者から入居希望者の相談を受けたりしている。 管理者は年2回市が主催する地域密着型サービス事業者懇談会や年1回市が開催する勉強会に参加した機会に、市担当者に事業所の取組みや実情を伝えるなどして協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	○できている。  マニュアルを作成して、どういうケアが身体拘束になるのか周知徹底し、委員会を設け随時対応しています。	運営規程ならびに契約書、重要事項説明書に緊急やむを得ない場合以外は身体拘束をしないことを明記するとともに、契約時に利用者や家族等に説明して同意を得ている。 身体拘束排除に向けたマニュアルを作成し、年1回内部研修を実施して全職員が身体拘束の弊害を正しく理解できるよう取り組んでおり、職員は玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに努めている。 身体拘束廃止委員会を設けて、毎月法人に取り組み状況を報告するとともに、法人全体で定期的に話し合っており、頻繁に体を動かしている利用者の場合は、ベッドからの転落防止のため畳を使用するなど、話し合いの結果を支援につなげている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	○できている。  施設内の勉強会にて職員の知識を高め、虐待防止の徹底・虐待を見過ごさないよう注意を払っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	○できている。  運営推進会議のメンバーに人権擁護委員の方がおりますので、質疑応答の場面を作り職員の知識を高めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	○できている。 利用者様・家族様にわかりやすく説明し、不安や疑問点を尋ね、理解・納得していただいています。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	○できている。 利用者様や家族様がいつでも誰にでも、意見・要望を表せる環境づくりを心がけています。ご意見・ご要望箱の設置もしています。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	○できている。 定期的にユニット会議・全体会議を行い、職員の意見や提案を聞き、実施・検討しています。	管理者は月1回全体会議やユニット会議を開催したり、年1回個別の職員面談を実施したりして、職員が意見や要望、提案を出せる機会を設けている。 管理者は職員から出た休暇取得や研修受講の希望、勤務体制についての要望、よしずやグリーンカーテン設置の提案などを受け、運営に反映させている。 職員から出た意見を受け、利用者が行きたい場所に行ったり、会いたい人に会えるような外出支援の実現に向けて取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	○できている。 法人の規定により、実施しています。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○できている。 職員一人ひとりの段階に応じた法人内外の研修に参加して学ぶ機会を設け、全職員に伝達・報告することにより、更にスキルアップできるように取り組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○できている。 近隣のグループホームや小規模多機能施設と交流する機会を作っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	○できている。 お茶を飲みながら本人様の話を傾聴して、環境の変化や見慣れない利用者様・職員への不安を取り除けるような言葉かけができるように配慮しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	○できている。 家族様には、不安や要望、利用者様の生活歴や家での様子を聞き取り、施設での日常の様子・状態を家族様に伝えることを繰り返すことで、信頼関係を築けるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	○できている。 家族様の聞き取りを行い、一週間から十日位を目安に、職員の関わりや観察等をアセスメントやICFシートに繋げてます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	○できている。  信頼関係の構築、馴染みの関係を保てるよう努めております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	○できている。  利用者様の想いを叶え、今までの生活と変わりなく過ごせるよう「どうすることが一番良いのか？必要なのか？」を家族様と共に探っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○できている。  家族様・親しい方との面会や、外出時に可能な限り行きたい場所へ行き、会いたい人に会えるような支援に努めています。	利用者の親戚や知人が訪れた時は職員がお茶を出して接待し、寛ぎながら話ができるよう配慮している。 家族等の協力を得たり職員が付き添い、利用者が以前住んでいた場所や馴染みの公園などへの外出を支援している。 職員は利用者が家族等に電話をかけたり、年賀状や暑中見舞いを出したりできるよう支援し、馴染みの人との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	○できている。  利用者様の性格や相性を考慮しながら、お互いが楽しく笑顔で過ごせるよう支援に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	○できている。  家族が再度入所されています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	○できている。  日々の暮らしの中で発語（つぶやき）などを、日々の記録に記入しています。	職員は日々の暮らしの中で利用者にさりげなく話しかけて希望や悩みなどを聴いたり、つぶやきに耳を傾けたりして思いや意向の把握に努め、記録して全職員で共有しながら思いにそった支援に努めている。  思いを表わせない利用者の場合は家族等から話を聞いたり、話し方や表情、しぐさなどから思いを汲み取ったりして、利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	○できている。  本人様・家族様から随時聞き取りをして、アセスメントシートに記入しています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	○できている。  利用者様の言動を観察して、日々の記録に記入しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	○できている。  サービス担当者会議において、関係各所と話し合い検討し、ケアプランに繋げています。	介護計画は利用者や家族等の意向や利用者の生活面での課題を把握するとともに、医師や看護職員、担当職員の意見等を反映させながら計画作成担当者を中心に作成し、家族等の来訪時に説明して同意を得ている。  毎月モニタリングを行うとともに、6ヶ月毎に介護計画を見直している。  前回の外部評価で、モニタリングの結果「現状維持」との評価が続いているにも係わらず、介護計画の目標を見直していない事例がみられたため、達成可能な目標を設定することが望まれていたが、まだ改善するまでには至っておらず、現在取り組んでいるところである。  利用者の心身の状態に変化が生じた場合には、随時現状に即した介護計画に見直している。	引き続き、達成可能な目標を設定した介護計画の作成に取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	○できている。 日々の記録・業務日誌に記録することにより、利用者様の状態把握や変化を見極め、気づきに繋がっています。又、ケアカンファレンスを行い、介護計画の見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	○できている。 帰宅願望の強い方には、一人での外出を試みています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	○できている。 幼稚園児・小学四年生・老人会などと、定期的に交流を深めています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○できている。 利用者様・家族様が希望する医療機関を受診しています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医を担当医としている。 協力医療機関への受診は職員が付き添い、専門医への受診は必要に応じて職員が付き添っているが、家族等が付き添った場合は受診結果の報告を受け、記録して全職員で共有している。 月2回協力医療機関の医師による訪問診療があるほか、月2回訪問歯科診療による口腔ケアを行っている。 看護職員と緊急時や夜間の連絡体制を確立し、適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	○できている。 日々の記録にて看護師が状態を把握し、介護職員に伝達を行い経過観察を記録しています。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>○できている。</p> <p>認知症療養病棟を持っている病院が母体のホームなので、利用者様にとって常に最善の方法を医療機関と相談しながら対応しています。</p>	/	
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>○できている。</p> <p>担当医を中心に検討する予定です。</p>	<p>重度化した場合や看取り介護に関する事業所の対応指針を作成し、契約時に事業所でできることとできないことを利用者や家族等に説明して同意を得ている。</p> <p>事業所はこれまでに看取りの経験はないが、年1回看護職員の指導のもとで看取り介護に関する研修会を実施し、重度化や終末期の支援に備えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>○できている。</p> <p>看護師による勉強会を開催・実施しています。又、実践できるように努めています。</p>	/	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>○できている。</p> <p>災害対策マニュアルを作成して全職員が周知徹底し、月1回外出時の車への誘導は避難訓練を実施しています。又、年二回の避難訓練では地域の方々にも協力して頂いています。食料・物品の備蓄も完備しています。</p>	<p>消防署立会いを含めた総合避難訓練を年2回実施するとともに、外出時など利用者が車に乗車する機会を利用して、災害時の避難誘導がスムーズにできるような移動を日頃から心がけている。</p> <p>災害対策マニュアルを作成して全職員に周知徹底するとともに、非常時持ち出し品として、利用者が常用している薬のほか、家族の連絡先や職員の連絡先、保険証、緊急連絡網を直ぐに取り出せるよう事務室の引き出しにまとめて準備している。</p> <p>災害の発生に備えて食糧や飲料水、おむつ、ラジオ、懐中電灯、電池、バケツ、ビニール袋などを備蓄している。</p> <p>地域住民や家族等の代表が参加し易いよう、避難訓練を運営推進会議後に実施して結果を話し合っているが、話し合った結果を記録するまでには至っていない。</p>	<p>避難訓練で明らかになった課題や反省点を話し合った結果は記録に残し、次回の訓練に活かすことが望まれる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	○できている。  「人生の大先輩」ということを常に意識して、尊厳のある生活が送れるように支援しています。又、恥ずかしい思いをさせない表情や言葉かけに気を付けています。	事業所は年1回守秘義務に関する勉強会を実施している。 職員は利用者を「人生の大先輩」として人格を尊重した対応に努めており、特に排泄や入浴支援では誇りやプライバシーを損ねないように、目立たずさりげない言葉かけや対応をしている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管し、取り扱いには十分注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	○できている。  利用者様とのコミュニケーションを取りながら、服を選んだり、飲み物等を選択できる場面づくりを心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○できている。  利用者様の生活スタイルを理解して、一人ひとりの時間の流れの把握を心がけ、あせらせない言葉かけを行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	○できている。  外出時は口紅やマニキュアを付けるなど、好みの色やデザイン等を尊重して、季節に合った身だしなみやおしゃれができるように、整容・支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	○できている。  一人ひとりの状態や力、好みを活かしながら、利用者様と職員と一緒に調理した食事を召し上がり、「おいしいね」「お腹いっぱいになったね」等対話しながら後片付けもしています。	献立は法人の栄養士が作成しているが、家族会の時に幕の内弁当を提供したり、りんご狩りなどの外出時に蕎麦を食べたりしているほか、時には刺身や海鮮物など利用者の好みの物を取り入れ、食事の変化に富んで楽しみなものとなるよう工夫している。 職員は利用者と一緒に会話をしながら和やかな雰囲気ですら食事ができるよう支援している。 利用者は能力に応じて食事の準備やテーブル拭き、食器拭きなどの役割を担っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	○できている。  日々の記録に食事量・水分摂取量を記録し、一日の摂取量を把握できるようにしています。又、嚥下状態・習慣に応じて言葉かけや介助等行い支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	○できている。  一人ひとりの状態を把握して、毎食後歯磨き・うがい・入れ歯の手入れを行っています。又、訪問歯科診療により定期的に口腔ケアを行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	○できている。  一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握して、言葉かけ・誘導を行っています。又、頻尿の方や失禁の多い方は、排泄チェック表に記入しています。	職員は排泄チェック表を活用して利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、タイミングを見計らいながら声かけやトイレ誘導をしている。 トイレは手摺を適切な位置に備え付け、利用し易いよう工夫している。 利用者一人ひとりについて、おむつやパッドの必要性を検討するなどして適切な排泄支援をされており、現在、日中はおむつを使用している利用者はいない。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	○できている。 毎日の食事・水分摂取量や適度な運動により、排便を促せるように心がけています。又、おやつに果物や、乳製品を利用しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	○できている。 一人でのんびり入りたい方、「一緒に入ろうね」と誘い合う方等、一人ひとりの希望に合わせて個々に応じた入浴の支援をしています。又入浴剤やゆず・みかんの皮を入れて、楽しみながら入浴していただいています。	入浴は基本的に週2回から4回午前中となっており、利用者が一人で入浴したり、利用者同士が誘い合っ一緒に入浴ができるよう希望にそった入浴を支援している。 入浴剤を使用したり柚子や菖蒲のほか、みかんの皮を入れたりして、季節を感じながら楽しく入浴ができるよう工夫している。 浴室に手摺を備え付けたり、シャワーチェアや滑り止めマットを使用したりしているほか、着脱室の温度を30度に保ち、安心して快適に入浴ができるよう支援している。 入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らいながら言葉かけを工夫し、無理の無いように促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	○できている。 生活習慣や身体の状態を考慮しながら日中の活動を把握して、休息したり、安心して気持ちよく眠れるように支援しています。又、寝具の清潔を心がけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	○できている。 薬事委員会の設置・薬事情報により、薬の目的や副作用、用法や容量について理解し、服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。（二人確認で服薬を実施）		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	○できている。 本人様・家族様に趣味や生活歴等を傾聴して、「何をしているのが楽しく感じるのか?」「どんなことがしたいのか?」を探りながら支援をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	○できている。  本人様の希望に添えるよう、家族様や地域の方々と協力し合い、出かけられるよう支援しています。	天気の良い日は利用者の希望や体調を考慮しながら近隣の公園や交流センターへ出かけたり、日用品やおやつなどの買い物に出かけたりしている。 年間計画を立てて月1回花見や紅葉狩り、りんご狩り、かかし祭り、ドライブなどに出かけ、季節を味わえるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	○できている。  必要な物や欲しい物を購入する機会を設け、品物を選び一人ひとり代金を支払って、楽しく買い物ができるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	○できている。  年賀状や絵手紙を作成したり、電話にて家族様と会話して交流を持てるように支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	○できている。  家庭的な雰囲気を感じられるように配慮し、写真や手作りの作品を展示したり、花を飾って季節感を取り入れ居心地よく過ごせるよう工夫しています。	共用空間は十分な採光を取り入れるとともに、窓辺に朝顔を植栽したり、簾を掛けたりして、快適に過ごせるよう工夫している。 玄関や居間、廊下には利用者と職員が一緒に制作した作品や幼稚園児が来訪時に制作した作品、行事の写真、季節の花や月見饅頭、すすきを飾り、和やかな雰囲気づくりをしながら季節を感じられるよう工夫している。 居間に続く和室に古風なタンスやテレビを配置したり、廊下や中庭に椅子やテーブルを置いたりして、利用者が思い思いに寛いだ時間を過ごせるよう配慮している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	○できている。  プライバシーに配慮しながら、玄関周りに椅子を置いたり、ディルーム・和室で自由に過ごせる居場所を確保しています。	/	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	○できている。  本人様や家族様と相談しながら、今まで身近に有ったものや大切にしているものを置き、居心地よく安心して過ごしていただけよう工夫しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	○できている。  日常生活の中で、食事の支度や掃除・洗濯物たたみ等「できること」や「わかること」を把握して、見守り又は職員と一緒に、自立した生活が送れるように工夫しています。	/	

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 ひたちの森ガーデン

作成日 平成25年12月7日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に地域生活の継続支援や、事業所地域との関係性を重視した内容を盛り込む。	地域の方々との交流・馴染みの関係継続。	「地域の中で共に暮らし、共に生きる」の文言を入れる。	6ヶ月
2	26	随時、現状に即した介護計画の見直し。	介護計画の目標の見直しが出来る。	モニタリング・担当者会議の充実のため、勉強会開催して職員の質の向上。	1年
3	35	避難訓練の結果・記録を残す。	直ちに実行する。	直ちに取り入れる事は実施する。	直ちに
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。